

人的資本を基盤としたサステナビリティ経営を推進 ～多様な人財が活躍できる環境づくりを強化～

第一工業製薬（本社：京都市南区、代表取締役社長：山路直貴）は、中期経営計画「SMART 2030」において、人的資本の強化をサステナビリティ経営の中核に位置づけています。

当社は、多様な人財がそれぞれの能力を発揮し、安心して働き続けられる環境づくりを強化することで、企業の成長と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

2016年に「社員活躍推進委員会」を設置し、社員が働きやすい環境づくりとエンゲージメント向上に取り組んできました。2024年12月の社内調査でキャリア形成の課題が判明したため、若手や育児・介護を両立する社員など多様なテーマ別の対話の場を今後も継続していきます。

また、デジタル社内報によるコミュニティ形成で孤立感解消や心理的安全性向上を図り、誰もが安心して働ける職場を整備しています。

これらの取り組みや意識調査を通じて、挑戦したいと思える組織風土を醸成し、人的資本への投資で多様な人財の活躍と企業価値の向上、持続可能な社会の実現をめざします。

人的資本経営の取り組みとして女性管理職との座談会を実施

当社は、2030年までに女性管理職比率15%を目指していますが、単なる数値の達成ではなく、公平に挑戦できる環境づくりを重視しています。その一環として「女性のキャリア志向向上ワーキンググループ」を発足し、2月6日に本社で女性管理職との座談会を開催しました。参加者は管理職の具体的な仕事やキャリア形成について意見交換し、多くの気づきを得ました。



座談会の様子 2026年2月6日 本社にて

【本リリースについてのお問い合わせ先】

第一工業製薬株式会社 管理本部 戦略統括部 広報 IR 部
TEL. 075-276-3027 E-mail: d-kouhou@dks-web.co.jp
〒601-8002 京都市南区東九条上殿田町 48 番地 2